



取扱説明書

ポータブル動噴セット GS51ET-20

お買い上げいただき、誠にありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に、「安全に作業するために」を必ずお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

はじめに

このたびは、本製品をお買いあげいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、安全で快適な作業を行なっていただくために、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明してあります。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただいて十分理解され、本製品がいつまでもすぐれた性能を発揮出来るようにこの冊子をご活用ください。

お読みになったあと必ず大切に保管し、本製品を末永く使用できますようにご活用下さい。なお、より良い製品をご提供するために製品を本書の内容が一部異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

本製品についてお気づきの点がございましたら最寄の取扱店にお問い合わせください。

- 取扱説明書は大切に保管してください。
- 紛失した場合は最寄の取扱店にてお買い求めください。
- 本製品を改造することは、安全で快適な作業に支障をきたすだけでなく、大変危険ですのでおやめください。

■注意事項について

この取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱上の注意事項について、次のように表示しています。

- ！ 危険** ……もし警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う事になるもの。
- ！ 警告** ……その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う可能性があるもの。
- ！ 注意** ……その警告に従わなかった場合、けがを負う可能性があるもの。
- 注意** ……その警告に従わなかった場合、機械の損傷の可能性があるもの。

■機械を他人に貸すとき、運転させるとき

事前に運転の仕方を教え、機械に貼ってある**！**(安全注意マーク)印のついている警告ラベルも一枚ずつ説明してあげて下さい。親切心が仇にならないように機械と一緒に取扱説明書を渡し、よく読んで理解し取扱方法を体得してから作業するように指導してください。とくに禁止事項については念を入れて説明してください。

自分が使用するつもりで！



換 算 表

量	新計量法対応表示	換 算	従来の表示	備考
面 積	[m ²] (平方メートル)	10000[m ²]=1[ha]=100[a] =10 反歩=3000 坪	[a] (アール)、[ha] (ヘクタール) 坪、町歩、反歩	※①
回 転 速 度	[rpm] (回毎分) [min ⁻¹] (毎分)	1[min ⁻¹]=1[rpm]	[rpm]	※②
力	[N] (ニュートン)	9.8[N]=1[kg f]	[kg f] (重量キログラム)	
力のモーメント	[N・m] (ニュートンメートル)	9.8[N・m]=1[kg f・m]	[kg f・m]	
圧 力	[Pa] (パスカル) [N・m ²] (ニュートン毎平方メートル)	0.98[MPa]=10[kg f/cm ²] 9.8[Pa]=1[mmH ₂ O]	[kg f/cm ²] [mmH ₂ O]	
工 率 ・ 動 力	[W] (ワット)	735.5[W]=1[PS] 9.8[W]=1[kg f・m/s]	[PS] [kg f・m/s]	

※注意事項 ①土地面積については、[a]、[ha]を使用することがあります。

②単位時間における回転数については、「回転数」ではなく、「回転速度」と表示します。

目次

1.  安全に作業するために	3
2. 各部の名前とはたらき	6
3.  警告ラベルの取扱い	8
4. 始業前の準備	9
5. 始動	10
6. 運転	11
7. 停止	12
8. 清掃と整備	12
9. 水抜きと格納	14
10. 故障診断とその処置	15
11. 仕様	17
12. サービスと保証について	18

1. ⚠️安全に作業するために

(1) はじめに

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよく読んで正しい安全作業を行ってください。

「安全に作業していただくために、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですがこれ以外にも本文の中で ⚠️危険・⚠️警告・⚠️注意・注意 としてそのつど取り上げています。」

(2) 作業前にこれだけは守りましょう。

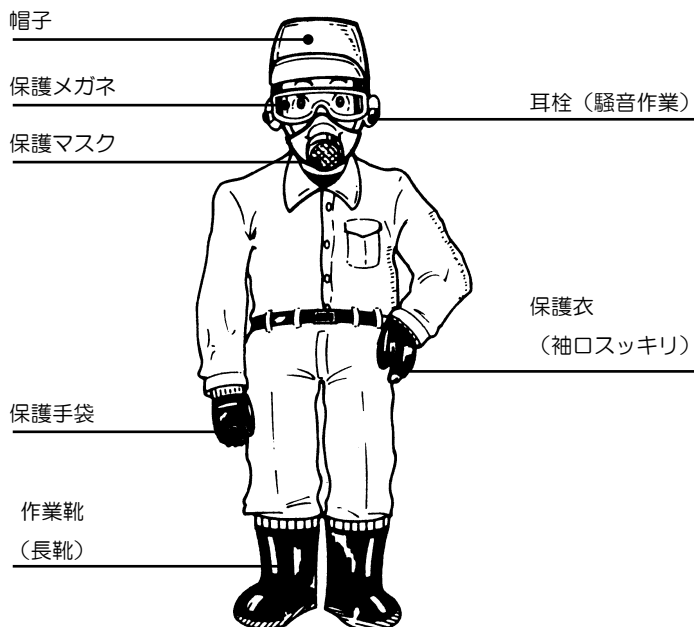
■ こんな人は、作業してはいけません。心身ともに健康な状態で作業してください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により正常な作業ができない人
- 酒気をおびた人
- 妊娠している人
- 16歳未満の人
- 未熟練者
- 作業者以外



■ 服装は、作業に適していますか？

- 作業に適し、体にあったものを着用してください。



- ・ 保護具はつねに正常な機能を有する様、点検・整備を行い、正しく使用してください。
- ・ 騒音が大きい場合はイヤーマフまたは耳栓を着用してください。
- ・ 作業領域には作業者以外の人を近づけないでください。

(3) ご使用するときの注意

■使用用途

- 1) 一般畑作物の病害虫に対する薬液散布。
- 2) 果樹一般の病害虫に対する薬液散布。
- 3) ハウス栽培作物の病害虫に対する薬液散布。
- 4) 花栽培作物の病害虫に対する薬液散布。
- 5) 牧舎・鶏舎等への消毒液・殺虫液の散布。
- 6) 庭木・盆栽・芝生の病害虫に対する薬液散布及び散水。
- 7) 都市衛生用消毒液・殺虫液の散布
- 8) 公園等の花壇・街路樹の病害虫に対する薬液散布。
- 9) 雑草防除に対する除草剤の散布。

自動車などによる運搬時は機械が転倒しないような処置をしておきます

■薬剤について

反当散布量や薬剤の種類をまちがえると、薬害をおこします。

- 薬剤は安全な場所に保管し、運搬するときは、袋が切れないように気をつけます。
- 使用済みの薬剤の袋・容器は害のないように処理します
- 薬剤の取扱いには十分注意し、万一目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流します。

体調に異常を感じたら直ちに医師の診断を受けてください。

- 風向きによって散布方法を変え、作業や住宅等に影響が出ないようにしましょう。
- 薬剤散布は風上から風下に向かって作業しましょう。また、周辺のお作物、畜舎、養魚池、住宅に漂流飛散させないように配慮しましょう。



!! 警告

- 薬剤散布は風上から風下に向かって作業しましょう。風下からの作業では薬剤を浴びることになります。
- 火災の恐れがありますので引火性の強い薬剤は使用しないでください。
- 動力噴霧器は重量物です。運搬時には、腰を痛めない様に十分注意してください。

■混合燃料について

混合燃料は引火しやすいので、火災防止のため、次の事項を守ってください。

- 混合燃料の補給は必ずエンジンを停止し、冷えてから、行って下さい。こぼした時はよく拭き取り乾かしてください。燃料に引火して火災の原因となります。
- 燃料補給タンクから 3m 以上離れて始動してください。
- 燃料は無鉛ガソリンに市販の 2 サイクル専用オイル※¹ (F D 級もしくは F C 級) を以下の割合で混合し、ご使用ください。



<ガソリン・オイル混合比>

50 (ガソリン) : 1 (市販 2 サイクル専用オイル / F D, F C 級)

※¹ 2 サイクル専用オイルは J A S O 性能分類により F B、F C、F D の 3 種に分類され、容器に表示されております。(F A グレードは現在廃止されております。)

!! 危険

混合燃料の補給や手入れをする時は火気を近づけないでください。

■エンジンについて

- 車両にて移動する時は混合燃料を抜き取ってください。
火災の原因となります。
- 換気の悪い場所での使用は避けてください。
- エンジンは運転中、停止直後は高温です。マフラー、シリ
ンダーフィンなどに手を触れるとヤケドします。
- エンジンの運転中、点火プラグや高圧コードには触らない
でください。
- 設置した際に、排気方向は塞がないでください。排気ガスや排気熱により一酸化炭素中毒や火災の原
因になります。
- トラックのあおりがマフラー排気口より高い場合にはあおりを倒してください。

換気と可燃物に注意



⚠ 警告

- 室内では運転しないでください、一酸化炭素中毒になります。
- エンジンの排気ガスは吸わないように注意してください。

■ポンプについて

- ノズルから吐出する薬剤は高圧です。人に向かって吐出ししないでください。
- エンジンを始動するときは、ノズルのバルブが確実に閉じていることを確認します。

(4) ご使用後の注意

- 薬剤は、残さないように調合し、散布してください。
- 機械についた薬剤などもきれいに取り去ってください。発錆や故障の原因になります。
- 火災防止のため、混合燃料は全て抜き取って金属缶に保管してください。また、燃料タンク内に
混合燃料を入れたままにしていると、樹脂タンクの成分が溶け出し、エンジンに悪影響を与え、
故障の原因となります。
- 長期間使用されないときは、燃料を全て抜き取ってください。火災や故障の原因となります。
- エンジンは高温になるので素手でさわらないでください。やけどの恐れがあります。

(5) ポジティブリスト制度について

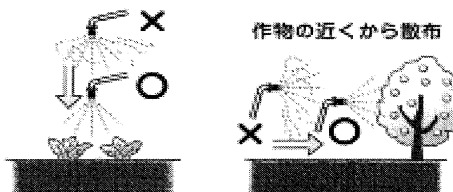
食品衛生法の農薬残留基準にポジティブリスト制度が導入されます。今まで残留基準値が決められてい
なかった農産物に一律の厳しい基準が設けられます。定められた基準を超えて農薬が残留する食品は販売
等が禁止されるため、散布する薬剤が周りのほ場にドリフトしないよう、これまで以上に、ドリフト防止
に気をつける必要があります。また、周辺ほ場へのドリフトが問題になるばかりではなく、ドリフトが周
辺住民に迷惑をかけることもあります。さらに、湖沼などの水源へ混入すると環境破壊にもつながります。
圏外へのドリフトを減らすことは様々な面から求められています。

ポジティブリスト制度とは？

食品衛生法に基づく残留基準値が設定されていない農薬等が一定量以上含まれる食品の販売等を原則禁
止とする制度です。この一定量とは「人の健康を損なうおそれのない量として厚生労働大臣が定める量」
として、原則0.01ppmとなっています。(いわゆる一律基準)

※散布しようとする作物以外に農薬がドリフトしないように細心の注意をして散布しましょう！

- 農薬散布時は必ず守りましょう。
 - ①風の弱い時に散布します。
 - ②散布の位置や方向に注意します。
 - ③適正なノズルを使い適正な圧力で散布します。
 - ④適正な量を散布します。
 - ⑤園地の端部では特に注意します。
 - ⑥薬剤タンクやホースをしっかりと洗浄します。



2. 各部の名前とはたらき

■標準付属品のご確認

梱包箱を開けたら、まず付属品が揃っているかどうか、確認してください。万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにお買い求めの販売店にお申し出ください。



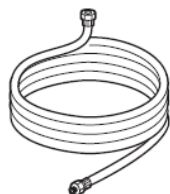
830048 ノズル



830886 取扱説明書（本機）



保証書



548988 噴霧ホース

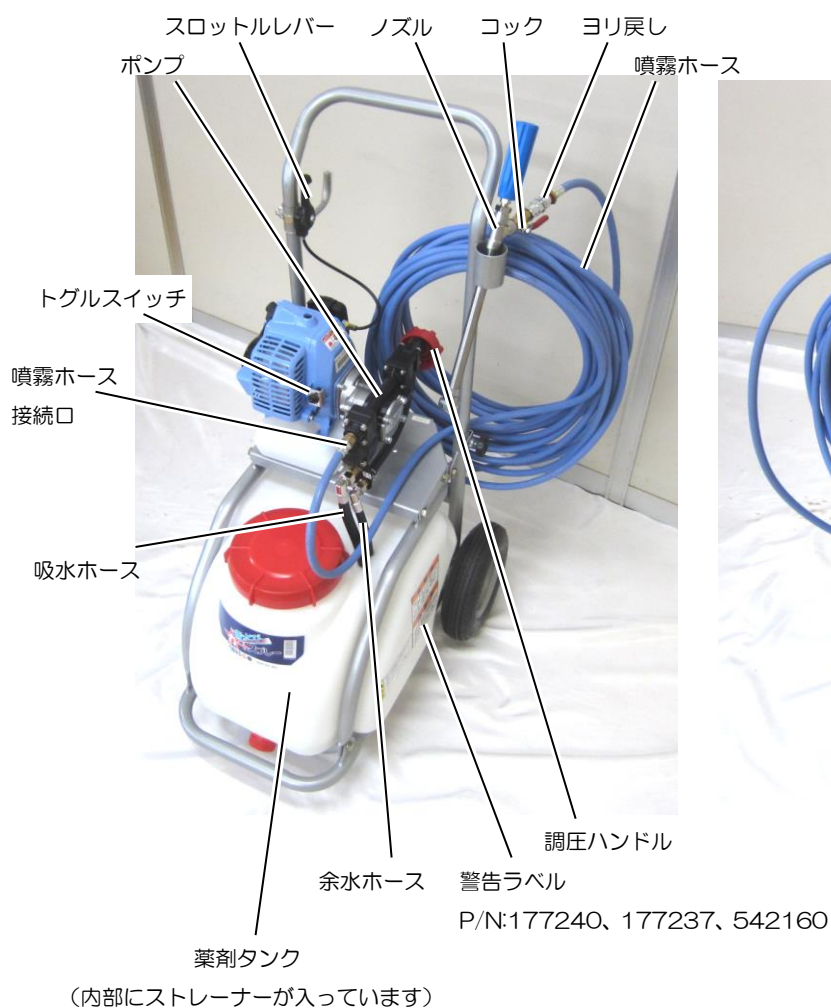


814042 より戻し金具



105891 ボールコック

■各部の名前



■各部のはたらき

①調圧弁ハンドル

ポンプの噴霧圧力は調圧弁ハンドルを回すことにより調整します。

始動位置

エンジン始動時及びポンプ吸水時に合わせます。

除草位置

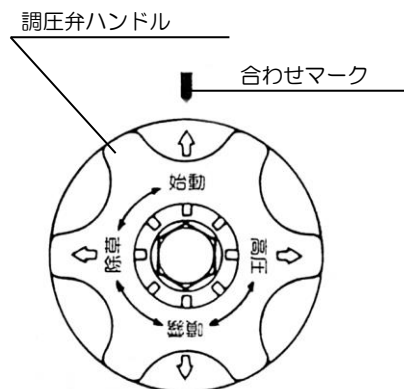
除草剤散布などの低圧で噴霧するときに合わせます。

噴霧位置

通常の噴霧作業のときに合わせます。

高圧位置

高圧噴霧作業や噴霧ホースを長くして使用するときや細かい霧の散布をするときに合わせます。

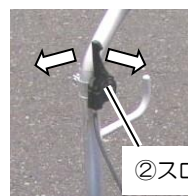


②スロットルレバー

エンジンの回転（ポンプの回転）を調整します。

注意

このポンプは遠心クラッチを使用しているため、クラッチがすべる低回転域で使用すると、クラッチの寿命が短くなる原因になります。（すべりによる異常振動がでる場合は調圧弁ハンドル位置・スロットルレバーとの組合せを調整します。



②スロットルレバー

③トグルスイッチ

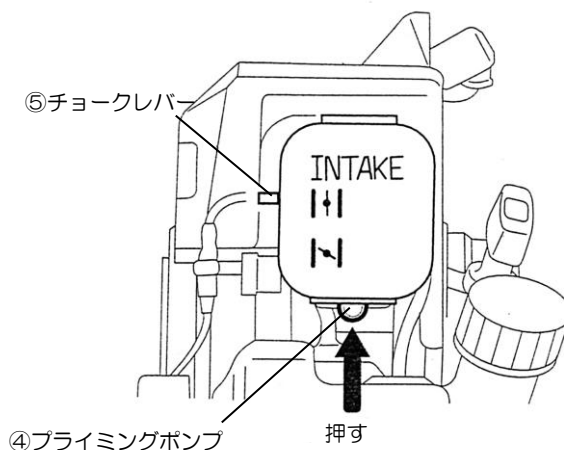


③トグルスイッチ

OFF側にレバーを倒すとエンジンが停止します。

④プライミングポンプ

エンジンを始動するときに使用します。ポンピングすると気化器まで混合燃料が送られます。



⑤チョークレバー

④プライミングポンプ

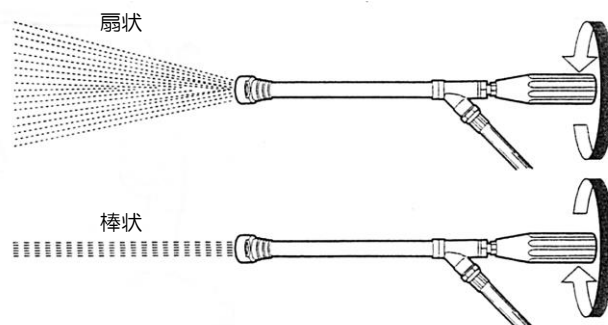
押す

⑤チョークレバー

エンジン始動時（エンジンが冷えている時）に閉にすると始動しやすくなります。

⑥ノズル

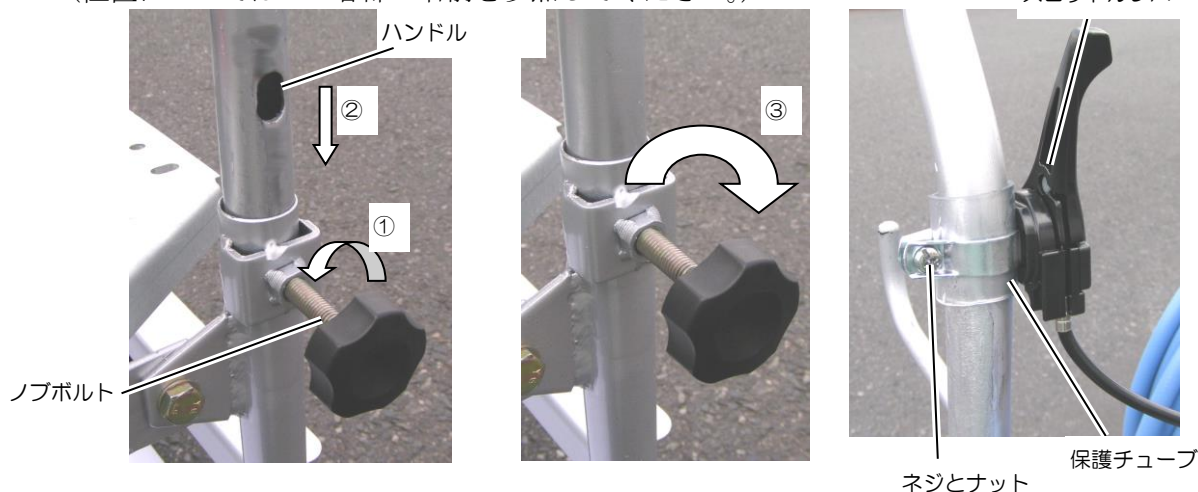
ニギリを右に回すと扇状になり戻すと棒状の霧になります。



●本機を購入されて初めてご使用される場合はハンドルの組立を行ってください。

○ハンドルの組立

- ・フレームについているノブボルトをゆるめて、ハンドルを奥まで差し込んでください。
- ・ノブボルトを締め、ハンドルを固定します。
- ・スロットルレバーをハンドルにネジとナットで固定します。
(位置についてはP 6 各部の名前を参照してください。)



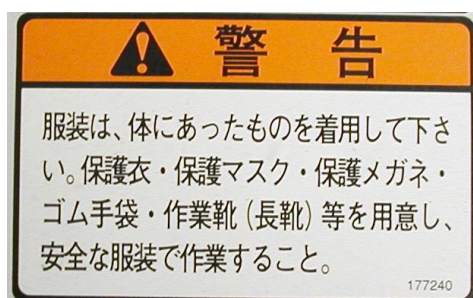
3. ⚠ 警告ラベルの取扱い

⚠ 注意

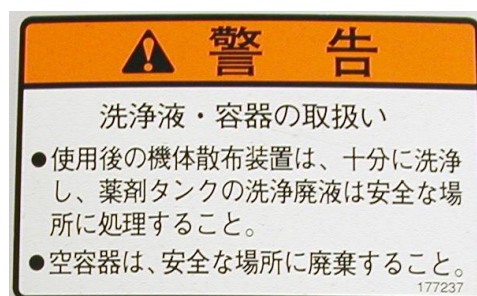
- ・いつも汚れや泥を取り、表示内容がハッキリと見えるようにしてください。
- ・警告ラベルが損傷したなら、新しいものと交換してください。
- ・警告ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい警告ラベルを、取り外した部品を同じ場所に貼ってください。

●本機には、次の警告ラベルが貼ってあります。よく読んで理解した上で作業してください。
下記にその内容を記載してありますのでよく読んでください。

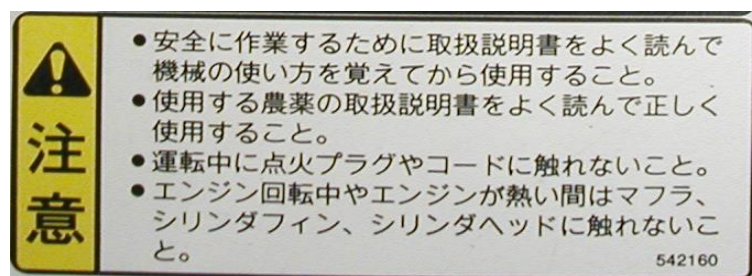
177240



177237



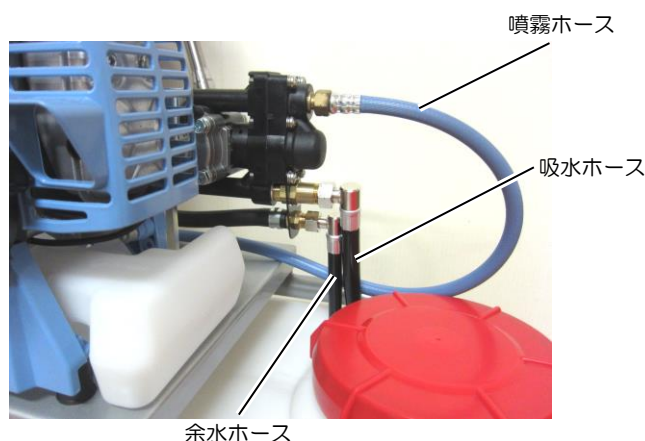
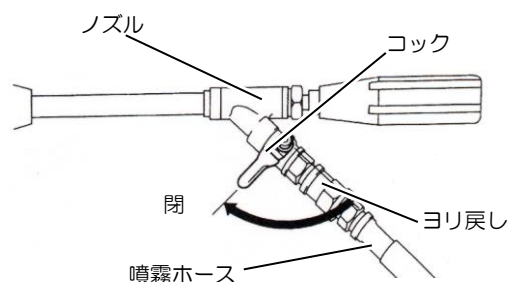
542160



4. 始業前の準備

○組立

1. 機械各部のネジがゆるんでいないか点検します。
2. ホースの組み立て
 - ①吸水ホースのストレーナにゴミがついていないか、吸水口の接続が確実か確認します。
 - ②余水ホースが確実に接続されているか、折れ曲がりはないか確認します。
 - ③噴霧ホース、パッキンの破損がないか、吐出口に確実に接続されているか確認します。
 - ④噴霧ホース先端のコックにノズルを接続します。
コックは確実に締め切っておきます。
3. 薬剤タンクに汚れやゴミがないか確認し、清水を入れます。
4. 薬剤タンクのふたをしっかりと閉めます。



○給油

⚠ 警告

混合燃料は非常に引火しやすく、また気化した混合燃料は爆発して死傷事故を引き起こすことがあります。

混合燃料を補給するときは

- エンジンを停止してください。
- 火気を近づけないでください。
- 混合燃料はこぼさないように補給してください。万一こぼれたときは、布きれ等で完全にふき取り、火災と環境に注意して処分してください。
- 混合燃料は注入口の口元まで入れず所定の給油限界位置を越えないように補給してください。入れすぎるとガソリンが燃料給油キャップからにじみ出ることがあり危険です。

■点検

燃料タンクの外側より液面の位置を確認し、混合燃料の量を点検します。少ない場合は平坦な場所で給油限界位置を越えないように補給してください。

■補給

必ず混合燃料を使用してください。

詳細はP 4「混合燃料について」を参照ください。

- 燃料給油キャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除きます。
給油キャップを外し、給油限界位置を越えないように補給します。
- 補給後、給油キャップを完全に締め付けてください。また、給油キャップ取付け部より燃料漏れがないことを確認してください。

5. 始動

注意

エンジンを始動する時は、必ず薬剤タンクに水または薬剤を入れます。

●初めて始動する時は薬物の調合前に清水で運転して機械の調子確かめておきます。

注意

ノズルはハンドルを時計方向に回し、噴霧停止の状態にします。

警告

●排気ガスは人体に有害です。換気の悪い場所での運転はしないでください。

●マフラー及び排気口付近に障害物や燃えやすいものがあると、発火するおそれがあります。

駐車の際には十分注意してください。

①コックは閉の位置にして、噴霧停止の状態にします。
ノズルもハンドルを時計方向に回し、噴霧停止の状態にします。コックが開になり薬剤を浴びる恐れがあります。

②トグルスイッチをONにしてください。

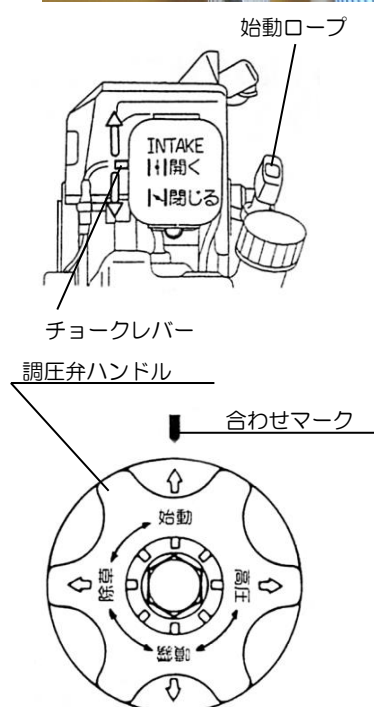
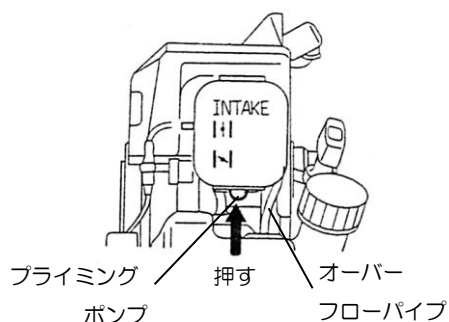
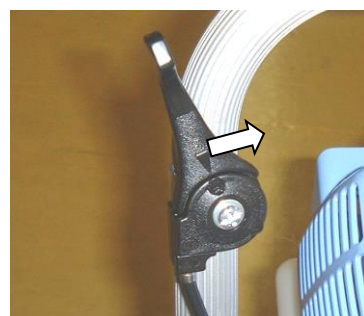
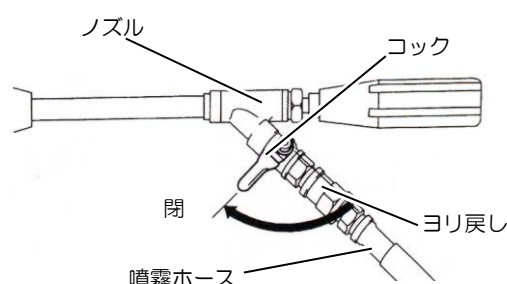
③スロットルレバーを中速位置にします。

④プライミングポンプを数回矢印側から押してください。
オーバーフローパイプから燃料タンクに混合燃料が戻り
空気の泡がなくなるまで押してください。

(タンクに混合燃料を入れて最初に始動させるときには
5～10 回程度押す必要があります。)

⑤エンジンが冷えているときには、チョークレバーを  (閉じる) にします。

エンジンが暖まっているときには、チョークレバーを  (開く) にします。



⑥調圧弁ハンドルを「始動」の位置にします。

⑦始動ロープを引いてください。

始動ロープを引くとロープに目印線が出てきます。その後、始動ロープを戻し始めると、そのことをスタータが感知してエンジン始動が始まります。強く引いたり、早く引いたりする必要はありません。ロープの目印までスムーズに引き、スムーズに戻してください。

【始動ロープの引きかた】

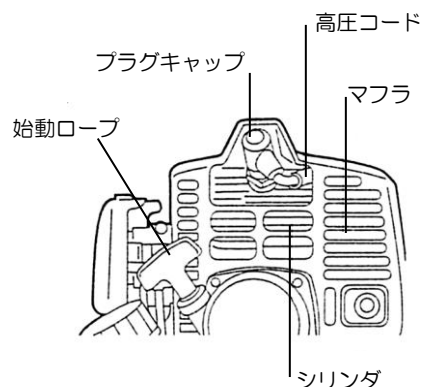
1. 始動ロープを右手で確実に握ります。
2. 左手でフレームを押さえます。
3. 始動ロープは抵抗を感じるころまでゆっくり引きます。
4. 始動ロープはスタータの出入口とまっすぐになるように引きます。
5. 始動ロープは全部引ききらないようにします。
6. 始動ロープは引張ったまま手離さないで確実に元に戻します。

注意

繰り返しても始動しない場合は、チョークを全開にしてからロープを引いて始動します。

※始動しない場合 15 ページ（故障診断とその処置：エンジン）を参照してください。

⑧エンジンが始動したらチョークレバーを徐々に
|| (開く) にします。



6. 運転

①調圧弁ハンドルを回して、除草、噴霧、高圧（定置）と作業条件にあった圧力の設定をします。

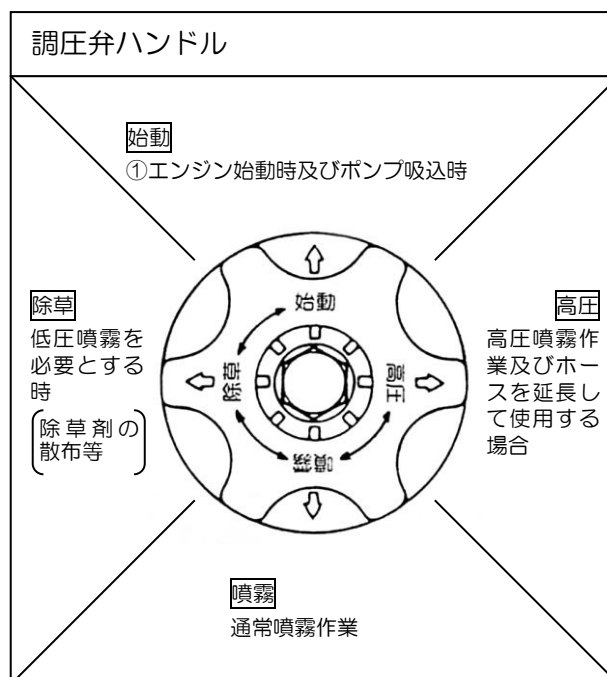
②霧の状態、機械の異常の有無を確かめたうえ、スロットルレバーを高速位置にします。

注意

●調圧弁ハンドル「高圧」の位置でスロットル全開のまま調圧弁ハンドル「噴霧」「除草」としますと、圧力が低くなった分エンジンの回転が高くなりますので、「噴霧」「除草」の位置で使用する場合はスロットル全開より若干戻した位置で使用するしてください。

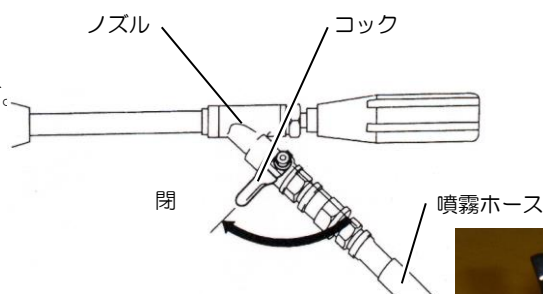
●空運転は水抜き以外しないでください。ピストンパッキングが損傷します。

③ノズルのニギリを回して、作業にあわせた霧に調節してください。



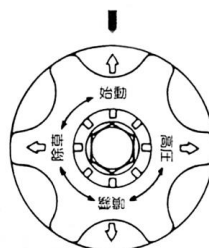
7. 停止

①噴霧ホース先端のコックにて噴霧を停止します。

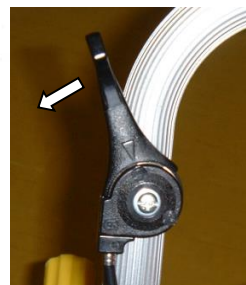


②スロットルレバーを低速に戻します。

③調圧弁ハンドルを「始動」の位置にします。



④トグルスイッチをOFFにしてください。



⚠ 注意

やけど防止のため、運転中および停止直後は、シリンダ、マフラカバー等の高温部にはさわらないでください。

8. 清掃と整備

⚠ 注意

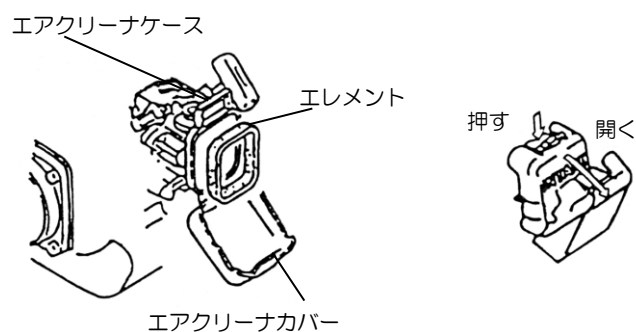
清掃・点検および整備の時は必ず本機を停止してください。

■エアクリーナの清掃

●エアクリーナのエレメントが汚れていると、エンジンの出力低下や始動不良をおこします。エレメントは時々清掃し、汚れを落とし、目づまりを防いでください。また、チリやホコリの多いところで使用した場合は一日一回清掃してください。

①エアクリーナカバーの上を押し、エアクリーナケースからカバーを外してください。その後エレメントを取り出しでください。

②エレメントはガソリンまたは灯油でよく洗浄し絞ってから元の位置に取付けます。
エレメントが劣化していたら交換してください。
※部品は、最寄の取扱店にご相談ください。



③エアクリーナカバーを確実にもとの状態にはめ込んでください。

④ろ過部、エアクリーナカバーを取付けます。
エアクリーナカバーは、下部の2ヶ所の合せ部を支点にして閉じ、上部のつめを確実に組付けます。

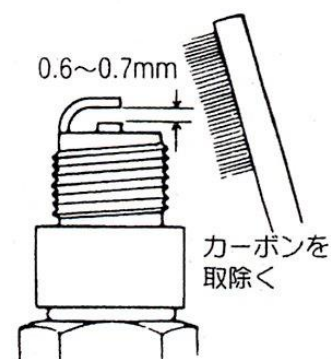
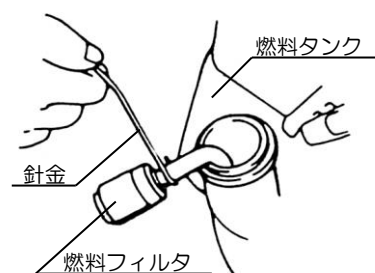
注意

●エアクリーナを外した状態でエンジンを運転しないでください。エンジンの寿命を縮める原因になります。

■燃料タンク、フィルタの清掃

- 燃料フィルタが詰まると始動不良、加速不良の原因となります。
時々燃料フィルタ及び燃料タンクの清掃を行ってください。

- ①燃料フィルタを針金を用いて給油口から引き出します。
このときホースを傷つけないように注意します。
- ②ゴミを取り除きガソリンで洗浄します。汚れがひどいときは交換してください。
- ③燃料タンク内のゴミを除き、ガソリンで洗浄します。
- ④燃料フィルタを元に戻します。



■点火プラグの清掃

- カーボンを取除き間隙を 0.6～0.7 mm に調節します。

⚠ 注意

- エンジン停止直後のマフラや点火プラグなどは非常に熱くなっています。やけどをしないように作業はエンジンが冷えてから行ってください。

035-17

9. 水抜きと格納

■ポンプ

- ①薬剤タンクに清水をいれ、エンジンを始動します。
 - ②ノズルより噴霧させ、ポンプやホース内を洗浄します。
- ※異常があった場合は最寄の取扱店にご相談ください。

■水抜き

注意

水抜きは必ず行ってください。冬季凍結によりポンプを破損することがあります。

- ①薬剤タンク内の残液を下部のドレンから抜きます。
- ②調圧弁ハンドルを「始動」の位置に戻します。
- ③スロットルレバーを全開より若干戻した位置で 15～20 秒運転し残液を抜きます。
- ④スロットルレバーを低速にしてトグルスイッチにてエンジンを止めます。

■格納

- ①調圧弁ハンドルを「始動」の位置にします。
- ②燃料タンクの燃料を抜き、アイドリングでエンジンが自然に止まるまで運転します。
(高速回転させるとピストンパッキン、シールパッキンをいためます。)

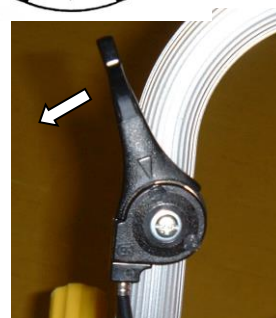
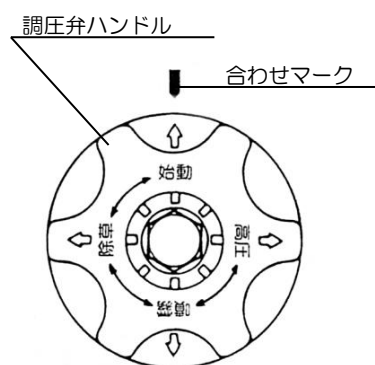
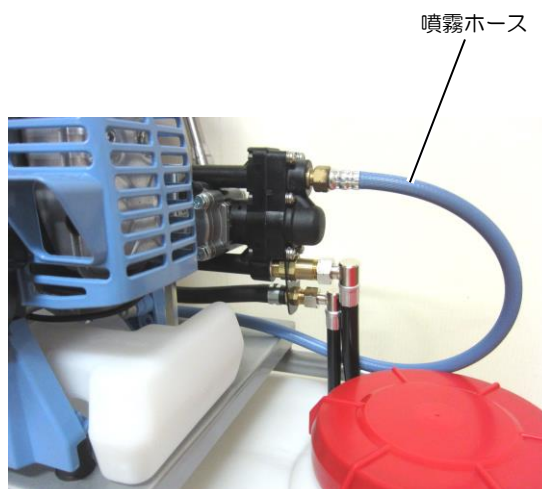
- ③スロットルレバーを低速の位置にします。

- ④トグルスイッチをOFFにします。

- ⑤以上のことを済ませたら、湿気の少ない風通しのよい場所に保管します。

注意

- 損傷箇所のある場合は、修理してから格納してください。この場合、部品・消耗品はすべて、当社指定の純正部品をご使用ください。
- 保管は湿気の少ない場所でチリやゴミが付着しないようにしてください。



10. 故障診断とその処置

- ポンプ、エンジンの調子が不良の場合は次の内容が考えられます。
- ☆印については最寄の取扱店に調整、修理を依頼してください。

ポンプ

現 象	原 因	処 置	
吸水しない。	(1) 吸水ホースの接続部のゆるみ。 (2) 吸水ストレーナが薬剤でつまる。 (3) ピストンパッキンの磨耗。 (4) 弁部に異物。	(1) 充分締付ける。 (2) 分解掃除。 (3) 新品と交換。 (4) 分解掃除。	☆ ☆ ☆ ☆
圧力が上がらない。 (噴霧状態が悪い)	(1) ピストンパッキンの磨耗。 (2) シリンダ内面にキズ。 (3) 吐出弁にキズ。 (4) 調圧弁座の磨耗。 (5) 各弁部に異物。 (6) カムハンドルの磨耗。 (7) ノズル穴の磨耗。 (8) ノズル使用数の過多。	(1) 新品と交換。 (2) 新品と交換。 (3) 新品と交換。 (4) 新品と交換。 (5) 分解掃除。 (6) 新品と交換。 (7) 新品と交換。 (8) ノズル数を少なくするか穴径の小さいノズルを交換する。	☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

エンジン

現 象	原 因	処 置	
始動しない	●燃料切れ ●燃料フィルタ目づまり ●始動操作ミス ●点火プラグ不良 ●マグネット不良 ●キャブレタ不良	●燃料補給 ●清掃 ●エンジンの始動の項参照 ●点検、清掃、交換 ●交換 ●点検、清掃	☆ ☆ ☆ ☆ ☆
出力不足	●ストットルワイヤ調節不良 ●エアクリーナエレメント目づまり ●排気ポート、マフラにカーボン堆積	●調節 ●清掃 ●清掃	☆
振動が大きくなる	●各部のゆるみ	●増締	
排気音が大きくなる	●マフラ及びマフラカバーのゆるみ	●増締	

MEMO

1 1. 仕様

GS51ET-20 仕様		
寸 機 法 体	機 高 (mm)	915
	機 幅 (mm)	455
	機 長 (mm)	615
乾 燥 質 量 (kg)		21
薬 剤 タ ン ク 容 量 (L)		30
噴霧機	型 式	水平対向 2 連ユニフロー式
	吸 水 量 (L/min)	7.1
	回 転 数 (min^{-1})	1930
	圧 力 (MPa)	0.8 : 1.6 : 2.5
エ ン ジ ン	型 式	BE-230P
	型 式	強制空冷 2 サイクル
	排 気 量 (mL)	22.5
	最 大 出 力 ($\text{kW}/\text{min}^{-1}$)	0.58/7000
	燃 料	潤滑油混合燃料※ ¹
	点 火 方 式	電子点火
	点 火 プ ラ グ	チャンピオン CJ8Y
	始 動 方 式	リコイルスタータ (マジックスタート)
燃 料 タ ン ク 容 量 (L)		0.9
噴 霧 ホ ー ス		6X20m

※1 混合燃料の詳細についてはP 4 「混合燃料について」を参照ください

● 改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

1 2. サービスと保証について

■保証について

保証期間、保証内容は保証書に記載されています。保証書を読んで確認してください。

保証書はお客様が保証期間中に保証修理を受けるときに、ご提示いただくものです。お読みになられた後は大切に保管してください。

製品を改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合や、使用上の誤りは、メーカーの保証対象外になりますので、ご注意下さい。

■アフターサービスについて

○始業点検時や使用中に不具合が発見された場合は、故障と対策を見て適切な処置を取ってください。

分からない場合は、最寄の取扱店にご相談ください。

○連絡していただく内容

●機種名 ●製造番号 ●故障内容

なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくお話しください。

○本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な整備が不可欠です。

年に一度は、最寄の取扱店に、点検整備をお願いしてください。この時の整備は有料となります。

■補修部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、本製品の製造打ち切り後9年です。但し、供給年限内であっても、特殊部品については納期等をご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

製品に関するお問合せ等は、まず、ご購入の販売店にご相談ください。
または、下記の全国共通の無料通話でもお受けいたします。

丸山サポートセンター

無料通話 0120-898-114

受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製品に関してお問合せいただく際は、正確にご対応させていただくため、あらかじめ、下記の事項をご準備ください。

- ①製品型式名、製造番号
- ②ご購入年月日
- ③販売店名



株式会社 **丸山製作所**

本社/東京都千代田区内神田 3-4-15 TEL 03(3252)2281 (営・代表) 〒101-0047